

保護者等向け

児童発達支援評価表

公表：令和 6年 3月 28日

事業所名： 発達療育 レンテ市川第二 保護者等数（児童数） 22（23） 回収数 15 割合 68%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15				・広いスペースと十分な部屋数である。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	15				・とても専門性が高く、ペアレントトレーニングでは親もとても勉強させてもらっている。 ・分かりやすくフィードバックしてくれていて非常に勉強になる。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、情報伝達等への配慮が適切になされているか	14	1			・計画された物の選別、配置になっている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	15				
適切 な支 援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	15				・毎回、本人の状態を丁寧に見て、適切な支援計画を立てていると思う。 ・とても専門性の高い内容で組まれていて、親への説明も的確である。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	14	1			・具体的に細かい作業まで設定されている。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	15				・毎回、細部まで支援されていると思う。
	8	活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	15				・困り事が出ると、すぐにプログラムに取り入れられている。
保 護 者 へ の 説 明 等	9	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15				
	10	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	14	1			・丁寧に説明してもらっている。
	11	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	11	3		1	・定期的に組んでもらっていて、とても勉強になり助かっている。 ・プログラムかは不明であるが、家で出来ることを教えてもらっている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
保護者への説明等	12	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	15				・困り事も都度傾聴してもらい、提案してもらえている。
	13	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14	1			・困り事も都度傾聴してもらい、細かく提案してもらえている。 ・月1回のSV（個別面談）は、本人の状態を専門家の観点から知る貴重な機会となっている。また、家庭や保育園での様子を伝えて理解を共有できるため、ずれることなく支援を受けることができている。
	14	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		4	6	5	・まだ企画を見かけたことがない。
	15	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	15				・子どもが寒がりだが、毎回部屋の温度を対応してくれている。
	16	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15				・相談できる機会が多い。
	17	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	6	5		4	
	18	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	15				・相談など、他の親とは接しない環境でプライバシーに気を配ってもらえている。
非常時等の対応	19	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	15				
	20	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	15				
満足度	21	子どもは通所を楽しみにしているか	15				・「レンテいきます！」「レンテいごっかなー！」と本人から言う。楽しいんだと思う。 ・いつも楽しく通っている。 ・親と離れる時は泣くが、お迎えのときの表情を見れば楽しかったことがよくわかる。
	22	事業所の支援に満足しているか	14	1			・緻密な観察と、実績のある理論に基づいて支援がなされている。前に進んでいる実感がある。 ・大変満足しており、通所をもっと増やしたいと強く思う。

*1 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 「児童発達支援計画」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*3 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

*4 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。